

かまど

卷之三

河川一音清掃のお礼と、

深 小 だ よ り

深小学校長
赤羽邦子

連合町内会会长 綱掛正志



城山サロンたより



二月十七日のサロン定例会は、吉岡由美子講師の指導により、簡単な体操で体をほぐした後、卓上ピアノに合わせて、今の季節にふさわしい曲や昔懐かしい曲を歌い若返りができました。特に高齢者は飲み込む時にむせることが多いので、「パタカラ」は歌だけではなく、「パタカラ」の言葉を盛り込んだ歌を習いました。「パタカラ」は歌だけでもなく、くり返し发声するだけでもなく、少なることでもなく、することができました。

培山先生集

卷之八

後一ヶ月を切りました。児童会役員選挙をはじめ、学校では、次の学年に向けての準備をしながら教育活動を進めています。特に、六年生にとっては、この学期は小学校生活最後となりました。

先日、一年間学校のリーダーとして活動した六年生に、「六年生から下級生に向けてメッセージ」を書いてもらいました。内容は、「下級生に伝えたいこと・残したい伝統」や、「自分が小学校生活で学んだこと」とです。内容は次のようなものでした。

「時間をしつかり守ることを続けてほしい」「進んであいさつをして、みんなや地域の人とたくさん交流をしてほしい」「友だちを大切にして、気遣う気持ちや助け合う気持ちをこれからも残してほしい」「決まりを守つて、さらによりよい学校にしてほしい」「秋祭りでの太鼓踊りを大切にしてほしい」「自分のことだけを考えず、周りの人たちのことも考えることを続けてほしい」「何事も最後までやり遂げること」「何事も一生懸命、最後まであきらめず取り組んでいくこと」などでした。この内容を読んだ時、言葉に重みがあると感じました。六年生が考えている中味は、自分自身がつかんだものであると同時に、深小

ありました。竹取りやとんどの組み立てなど、多くの方々のお力添えがあり、当日を迎えることができました。尚寿会を始め、消防団や地域のみなさま、そしてP.T.A.のみなさま、本当にありがとうございました。子どもたちが楽しみにしている学校行事を盛大に行うことができたことを心より感謝申し上げます。子どもたちも各学年の決められた役割（ウラジロ取り、薪運び、もち米とぎなど）を協力しながら、事に参加することができました。

「ふかまちのまど」 ホームページのアドレスは
<http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html>

☆入川 あいら
私は、中学生になつてから勉強をがんばろうと思つています。理由は、中学・高校になるにつれて勉強が難しくなると思うからです。

江口 優月

私は、中学生になつたら英語をがんばりたいです。理由は、英語を得意にし、将来話せるようになりたいと思つたからです。

のでたくさん友達を作りたいからです。

ぼくは、小学校でいいさつの大切さを学んだので中学校になつても、続けていきたいです。さらに友達も増やしていきたいです。

☆石本 幹太
ぼくは、中学生になつたら友達をたくさんつくろうと思つています。理由は、人数が多い学校は初めてだからです。楽しみにしています。

☆元川 創太
僕は、中学生になつたら友達を増やしたいです。理由は、まだ友達が五、六人しかいないから、二中で友達を沢山増やしたいです。

☆藤原 礼偉
ぼくは、中学交が楽しみです。

学校の中にこれまで育まってきたものだと感じました。

一方、下級生には、「六年生から学んだこと・伝えたい」と書いてもらいました。そこには、「できないことがあつたとき、やさしく応援してもらつてうれしかった」「『大丈夫』と声をかけてくれてありがとう」「六年生はいつも背中がきちんと伸びていて、すごいと思う」「六年生は、人に言われなくてもテキパキ行動して、掃除のときには声をかけてくれたので、見習いたい」「失敗したとき、『あきらめたらダメよ』と励ましてくれた」といった内容が書かれていました。

深小学校が教育活動に位置づけてきた縦割り班活動の中に、お互いや遊び合う教育環境があることを改めて実感しています。現在、子どもたちの中に育まれている伝統を大切につないでいけるよう、残り一ヶ月の学校生活を大切に全校で進んでいきます。

☆村上加奈
私が、がんばりたいのは部活と勉強の両立です。理由は、部活は初めてで勉強方法も変わるのでそれをがんばりたいです。

☆横森瑞希
私は、中学生になつたら、積極的に行動したいです。理由は、人数が増え緊張することが多く、それを克服したいからです。

☆ 村上 加奈 私が、がんばりたいのは部活動は初めてで勉強方法も変わるのでそれをがんばりたいです。

☆ 向井 梨紗 私は、中学生になつたら勉強を精一杯がんばりたいと思います。理由は、今の成績には満足していないので頑張りたいです。

☆ 丸山 夏実 私は、中学生になつたら勉強をがんばりたいです。理由は、中学生になつたら勉強が難しくなるのにつかり勉強をしたいからです。

私は、中学生になつたら勉強を精一杯がんばりたいと思います。理由は、どつちも頑張るのは難しいけど精一杯したいからです。

私は、中学生になつたら、常に目標を持つて行動することを、身に付けたいです。理由は、目標を持つと積極的に行動できるからです。

☆島村 美優

私は、中学生になつたら母の手伝いをしたいと思います。理由は、昼も夜も働いている母を少しでも楽にしてあげたいからです。

☆丸山 夏奈

前田 篤秀 様（中組）

前田篤秀様（中組南峠講）

小川俊光様
(中組干川講)
二月九日

今までの中学校生活について

「あいさつでいろんな人と交流」

河原実里

私が中学三年間頑張ってきたことは2つあります。一つ目は挨拶です。中学生になると友達だけではなく先輩や後輩にもあいさつをすることが増えました。あいさつをすることによっていろんな人と交流ができるのでこれからも続けていきたいです。

2つ目は提出物です。中学校は小学校と違い、教科が増えて提出物も増えました。提出物が多くても提出日にはきちんと提出しないといけないので大変でした。1日1日きちんととすることが大切だと知りました。中学校生活を通して、提出物やテスト、部活動が増えてとても大変でした。でも相談にのって下さる先生方や毎日一緒に過ごす同級生、部活動では先輩や後輩などいろんな人と二年間を過ごすことができてとても楽しかったです。新一年生にも大変さや楽しさを感じながら二年間を過ごして将来の夢に一步でも近づけるように頑張ってほしいです。

今までの中学校生活について

「修学旅行・東京をゆっくり歩く」

田代惣太

一年のときは集団宿泊学習を行いました。初めて会う人がほとんどだったので緊張しました。でもけっこう楽しかったです。

一年のときは修学旅行がありました。スカイツリーや渋谷に行きました。家族旅行でも東京へ行ったことは何回かあったけど、デイズニーメインだったから、東京の町をゆっくり歩くのは初めてでした。N H K の所だから、渋谷のスクランブル交差点とか、テレビでしか見たことなかった所にたくさん行きました。デイズニーも家族と行つたとき乗れなかつたものに乗れました。

三年生では、体育祭や文化祭がありました。体育祭では、ソーランをしました。練習のときはできなかつた四段のタワーが決まつたときは、すぐ氣分がよかつたです。文化祭では、僕自身は出なかつたけど劇がありました。ボイパやダンス、漫才などみんながやりたいものがたくさんできました。

それと同時に、体育祭などでチーフワーク、部長を務めさせていただいた部活動からは責任感と日々努力するよう、努力を続けていきたいです。

今までの中学校生活について

「感謝の気持ちを忘れずに」

福島玄次郎

ぼくは、高校でもサッカーを続けます。それは、中学校での部活動があつたからです。そして、深い印象があつたからです。深まわりに自然があります。その自然は、とてもとても楽しいあそびどうぐです。そのあそびがあつたから体をうごかす樂しさをしました。なのでその自然に感謝しています。そして、周りの人にも感謝しています。自分にサッカーをさせてくれて、将来の夢をつくってくれたからです。なでこれからは、「感謝」という気持ちを忘れずにプレーしたいです。

今までの中学校生活について

「ミュージカルで良い学校生活」

中川岳人

僕がすごした3年間の中学校生活は、毎日「退屈退屈」と言いながら過ごしていました。今振り返つてみれば、とても短い時間でした。

行事のたびにある長い練習、難しい単元の授業、ただ寒いだけのマラソンなど、いつもどちらを言いかながら多くの仲間達と笑いながら楽しく過ごせました。それと同時に、体育祭などではチーフワーク、部長を務めさせていただいた部活動からは責任感と日々努力する物を学ばせていただきました。この3年間で積み重ねた成長は高校に行つても、その先もずっと自分の力になると思います。これからも、更なる成長を遂げられるよう、努力を続けていきたいです。



今までの中学校生活について

「野球で県大会出場」

向井綾

僕は、中学校に入つて、まず初めての環境と初対面の同級生をして先輩たちを目にの入学式でした。学校生活が始まつて、まず「オリエンテーリング」学習がありました。

まだあまり知らない人たちとの距離は、大きく縮まつたと思います。さらに1年生の「ミュージカル」では、友達と一緒に演技をして友達としていい学校生活が送られました。

2年生では、修学旅行に行きました。「デイズニー ランド」や、「スカイツリー」などいろいろな所へ行きまつた。「フジテレビ」では、いろいろな番組の商品を売つておりさまざまなお土産が貰えました。

3年生では、受験の時期です。僕は、学力があまり良い方では、なかつたので、先生や友達、テキストなどを使って勉強をしました。結果は、「合格」だつたので良かったです。僕は、中学校生活を通していろいろなことを学びました。助け合い協力しあつてきました。僕は、高校に行つてもこの生活を忘れません。

私が中学校生活で頑張った事は、部活動に毎日参加することです。私はソフトテニス部に所属していました。あまり上手ではなかつた方なので、毎日の朝練習や午後練習、土曜日の練習に積極的に参加しました。その結果、団体戦の試合のメンバーとして、参加することができました。また部活動だけではなく、勉強にも一生懸命取り組みました。中学校の勉強は、小学校の勉強とは違います。理科では化学式やイオン式を学習します。これら全て、高校入試でも必要なことなので、自分の志望校に向かって、しっかり学習していきました。これから中学生になる人たちも、部活動や勉強を頑張つて取り組んでいくつほしいと思います。

今までの中学校生活について

「バスケットで優勝」

小林菜々

私は、第一中学校で過ごした3年間、色々な事を学びました。まずは部活動はバスケット部に入部して市内大会も優勝できてしまつた嬉しかつたです。みんなでよく努力して優勝できたので本当に嬉しかつたです。

今は受験生で毎日たくさんの勉強をしたりしてすゞく大変だけど受かるのを信じて努力していきます。三年間第一中学校に通えて本当に良かつたです。

今までの中学校生活について

「提出物をきちんと出して成績向上」

柴田采

私が、中学校生活で一番がんばつたことは、提出物をきちんと出すことです。小学校まで出すのがあたりまえだつたけど、中学校に入つてほとんどの人が提出物を出してなくて、私も出なかつた時がありました。テストの点も良い点をとれなくて、成績も下がつて、少しでも成績を上げようと努力しました。提出物に助けられたことが何度もありました。いい点をとるのはもちろん大事なことだけど、提出物を出すけど、中学校に入つて提出物は自分のためになつて提出物によつて助けられるんだときづかされました。これから中学校に入る人たちも、提出物はちゃんと出したら方がいいと思います。私も高校生になつても提出物をがんばります。

今までの中学校生活について

「バドミントンで中国大会出場」

田中翔眞

ぼくは、中学校がんばつたことは、バドミントンです。ぼくは昔からバドミントンをしています。バドミントンで県大会や中国大会にも出ました。そこで学んだことは、たいじや、どりょくです。たいじでは、中国大会に行つたときに、みんなでよくいたい人がよかつたです。うつらうつらにも気をつかう」とでおおきな練習や午後練習、土曜日の練習に積極的に参加しました。その結果、団体戦の試合のメンバーとして、参加することができました。

これは、たいじや、どりょくです。たいじでは、中国大会に行つたときに、みんなでよくいたい人がよかつたです。うつらうつらにも気をつかう」とでも全力でじぶんじぶんです。じりょくといつうことは、あきらめない気持ちをもつてどんどんいざい」とでも、全力でじぶんじぶんです。じりょくといつうことは、あきらめない気持ちをもつてどんどんいざい」とでも、全力でじぶんじぶんです。これからもいたいじりょくよくをする」とを忘れずにバドミントンをしていきます。

今までの中学校生活について

「部活と勉強にがんばつた」

石井涼

私が中学校生活で頑張つてきました事は、部活動に毎日参加することです。私はソフテニス部に所属していました。あまり上手ではなかつた方なので、毎日の朝練習や午後練習、土曜日の練習に積極的に参加しました。その結果、団体戦の試合のメンバーとして、参加することができました。

これは、たいじや、どりょくです。たいじでは、中国大会に行つたときに、みんなでよくいたい人がよかつたです。うつらうつらにも気をつかう」とでおおきな練習や午後練習、土曜日の練習に積極的に参加しました。その結果、団体戦の試合のメンバーとして、参加することができました。

私は、第一中学校で過ごした3年間、色々な事を学びました。まずは部活動はバスケット部に入部して市内大会も優勝できてしまつた嬉しかつたです。みんなでよく努力して優勝できたので本当に嬉しかつたです。今は受験生で毎日たくさんの勉強をしたりしてすゞく大変だけど受かるのを信じて努力していきます。三年間第一中学校に通えて本当に良かつたです。

今までの中学校生活について

「バドミントンで中国大会出場」

田中翔眞

ぼくは、中学校がんばつたことは、バドミントンです。ぼくは昔からバドミントンをしています。バドミントンで県大会や中国大会にも出ました。そこで学んだことは、たいじや、どりょくです。たいじでは、中国大会に行つたときに、みんなでよくいたい人がよかつたです。うつらうつらにも気をつかう」とでおおきな練習や午後練習、土曜日の練習に積極的に参加しました。その結果、団体戦の試合のメンバーとして、参加することができました。

これは、たいじや、どりょくです。たいじでは、中国大会に行つたときに、みんなでよくいたい人がよかつたです。うつらうつらにも気をつかう」とでも全力でじぶんじぶんです。じりょくといつうことは、あきらめない気持ちをもつてどんどんいざい」とでも、全力でじぶんじぶんです。じりょくといつうことは、あきらめない気持ちをもつてどんどんいざい」とでも、全力でじぶんじぶんです。これからもいたいじりょくよくをする」とを忘れずにバドミントンをしていきます。

今までの中学校生活について

「バドミントンで中国大会出場」

田中翔眞

ぼくは、中学校がんばつたことは、バドミントンです。ぼくは昔からバドミントンをしています。バドミントンで県大会や中国大会にも出ました。そこで学んだことは、たいじや、どりょくです。たいじでは、中国大会に行つたときに、みんなでよくいたい人がよかつたです。うつらうつらにも気をつかう」とでおおきな練習や午後練習、土曜日の練習に積極的に参加しました。その結果、団体戦の試合のメンバーとして、参加することができました。

これは、たいじや、どりょくです。たいじでは、中国大会に行つたときに、みんなでよくいたい人がよかつたです。うつらうつらにも気をつかう」とでも全力でじぶんじぶんです。じりょくといつうことは、あきらめない気持ちをもつてどんどんいざい」とでも、全力でじぶんじぶんです。じりょくといつうことは、あきらめない気持ちをもつてどんどんいざい」とでも、全力でじぶんじぶんです。これからもいたいじりょくよくをする」とを忘れずにバドミントンをしていきます。